

なかしべつ 議会だより

No.146
令和7年7月



6月15日(日) 根室管内消防団員技能競技訓練大会が行われました

主な内容 6月定例会 (P2)

委員会代表質問 (P3)

一般質問9名 (P4~8)

議会モニター会議 (P11)

道外視察研修報告 (P12・13)

議会ホームページ



6月定例会 全議案可決

補正予算案など

令和7年6月定例会を6月16日から20日まで開催。補正予算および条例などの議案について審議し、議決しました。

■令和7年度中標津町一般会計補正予算（第1号）

1億2706万9千円を追加し、総額165億1306万9千円となりました。

（単位：千円）

	総務費	民生費	衛生費	農林業費	商工費	教育費	計
補正額	108,516	1,200	2,400	5,000	6,000	3,953	127,069

【主な補正内容】

《町有バス整備事業》

【事業費：640万5千円】

武佐線車両購入費（コンピュータータイプ14人乗り）

《定額減税調整給付金給付事業》

【事業費：8133万4千円】

令和6年度に実施された住民税および所得税の定額減税を補足する給付金（調整給付金）

給付対象人数：2250人 給付総額：7780万円

《観光イベント補助金》

【補助金：600万円】

NAKASHIBETSU FUN FES 2025 事業費の一部補助（企業版ふるさと納税）

■条例の一部改正

- ◇特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ◇中標津町保育士等養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例
- ◇中標津町防災会議条例の一部を改正する条例

■その他

- ◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定
- ◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
- ◇工事請負契約の締結
 - ・東中団地新築建築主体工事（5工区）
 - ・緑ヶ丘森林公園管理棟他改築工事（交付金）
 - ・屋外拡声装置設置工事
 - ・中標津町総合文化会館コミュニティホール舞台照明設備改修工事（第1期）
- ◇財産の取得
 - ・除雪トラック購入その1、その2
 - ・ロータリ除雪車購入
 - ・教育用タブレット端末購入

■報告

- ◇令和6年度中標津町一般会計継続費繰越計算書の報告
- ◇令和6年度中標津町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告
- ◇令和6年度中標津町町立中標津病院事業会計繰越計算書の報告

6月定例会で以下の項目について町長および教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. 作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況について
4. 中標津空港の利用促進について
5. 学校法人岩谷学園について
6. 令和7年度建設工事の発注状況について

教育行政報告

1. 令和7年度町立学校学級編制について
2. 令和7年3月卒業の中学生・高校生の進路状況について
3. 各種大会等の出場結果について



詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>

委員会 代表質問

委員会代表質問の全文をこちらのホームページに掲載しています。



<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/iinkaidaihyousitumon/>

総務経済 常任委員会

質問 ふるさと納税事業の更なる展開と 支援体制強化を



ひらやま ひろみ
平山 光生 委員長

質問1

人気返礼品の拡大に伴い、保管場所の不足等、業者側のインフラ的課題が浮き彫りになっていますが、現行の補助金制度は成長戦略としての活用が難しい支援となつています。

今後どのように支援に取り組むのか、その方針を伺います。

町長答弁

一時的な民間施設の保管場所の活用等可能性を検討、魅力発信の強化、事業者との信頼関係を高めるとともに、他の各種補助制度の活用を推進します。

質問2

先進地ではクラウドファンディング型（以後CF型）ふる

質問3

原料を活かした町外展開や、原料トレーサビリティの強化、ブランド化戦略など、返礼品開発における体制強化について、今後どのような取り組みや支援方針を持つていくのか伺います。

町長答弁

現地決済型ふるさと納税の導入を現在検討中であり、中間事業者と連携した情報収集、事業者会議等を通じて協力関係の構築に努め取り組んでいきます。

町長答弁

CF型ふるさと納税制度の活用は、事業者からの提案募集型による手法も考えられ、設備投資を目的とした活用も可能であることから、事業の実効性の担保等調査研究のつえ、制度導入に向けて取り組んでいきます。

さと納税を活用した施設整備等で寄附額増に成功しています。

今後、この制度をどのように活かし、地域経済や事業の発展につなげていくのか伺います。

意見書



詳しい内容はホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>

議員から意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出しました。

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

提出者 たかはし よしさだ 高橋 善貞 議員

一般質問

一般質問の全文をこちらのホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問

将来的な介護人材確保のための奨学金等支援制度について

答弁

制度の導入に向けて調査研究を進めてまいります

むねかた かずき 宗形 一輝 議員

質問

町内では、介護人材の不足が深刻な問題となっております。

特に介護士は、将来的にも継続的な人手不足が懸念されます。

中標津町で介護人材として活躍してくれる若者の確保を目指し、奨学金等の支援制度を導入する必要があると考えます。

そこで将来、介護福祉士として働く意思のある高校生や若者に対し、専門学校・大学への進学支援（学費・生活費等の補助）、卒業後の町内就職を条件とした奨学金の返還免除制度、就労後の生活支援・定着支援策の実施などを一体的に行うことで、町内の将来の担い手を計画的に育成していく必要があるのではないかと考えています。



町長答弁

しよつか。
 また、外国人留学生を含めたすべての将来の人材候補に対し、介護を含む地域の担い手として活躍してもらうため、包括的な制度設計を検討していかねばならないのではないかと考えますが、いかがでしょうか。

再質問

有効な手段と認識しているのならば町が主導し、制度化していくべきではないでしょうか。

町長答弁

町内の介護の状況を見ながら考えていきます。

質問 観光案内所について

答弁 実情に合った観光案内体制の整備に努めてまいります

あべ たかひろ 議員 阿部 隆弘

質問



本年度4月1日より、なかまつぶにありました観光案内所が観光協会の事務所に移転いたしました。現在の場所では電話での対応には変わりありませんが、旅行者にとっては、バスでの移動や徒歩ではかなり遠く、不便だと思います。旅行者が困ったときの対応に迅速に答えられる、相手の知りたい気持ちに応えられる観光案内所が必要だと思います。

町長答弁

ターとして問合せに 대응するなど、WiFiやAを駆使して対応するため、町が設置し、運用を観光協会に委託する方法を行ってはいかがでしょうか。町長の考えをお聞かせください。

中標津経済センターに配置されていきました観光案内所は、これまでなかしべつ観光協会が中標津町商工会に業務委託していたものを今年4月から、なかしべつ観光協会事務所へ移転し直営で観光案内を実施するものです。観光案内システムの導入は、デジタルを活用した先進的な提案であり、町の観光受入体制の強化に資するものと考えます。直営となった観光案内の今後の実績をみながら、実情に合った観光案内体制の整備に努めてまいります。

質問 結婚支援の環境整備を

答弁 今後研究を行ってまいります

えぐち ともこ 議員 江口 智子

質問1



コロナ禍の前後で、本町における婚姻数はどのように変化していますか。また法務省が本籍地以外でも自身証明書の取得を可能にしましたが、本町ではどのような対応を考えていますか。

町長答弁

コロナ禍前2019年の243件に対し、2023年は193件、2024年は208件と減少から横ばいの傾向に推移しています。

また、独身証明書は本町でも交付可能で、今後周知を図ってまいります。

質問2

道内の一部自治体では、

町長答弁

国の交付金を活用し、家賃や新居への引っ越し費用などを支援していますが、本町もこの制度を活用すべきではないでしょうか。

質問3

最近結婚や出産等、人生のイベントをアルバム代わりにSNSにとどめる時代になりましたが、昨年は婚姻数の4割程度がオリジナルの婚姻届を使用しています。

手元に残せるオリジナルの記念用婚姻届を作るなど、町への愛着につながるよう検討すべきではないでしょうか。

町長答弁

住民からの要望や意見を庁内で収集するなど、必要に応じて話し合いを行ってまいります。

オリジナルの届出用紙は民間のものも多く、今後研究を行ってまいります。

質問 町道整備の順位決定に町民参加と公開の手法を

答弁 丁寧に説明し理解が得られるよう努めます

まつむら やすひろ
松村 康弘 議員

質問

町道の整備や補修について町民からの切実な要望が届いています。

自治体レベルでの道路補修費があまりに少ない現状にあつて、町民の理解を得る方法がないものか考察してみました。町内会から上がってくる要望を公開し、町内会に二票の投票をしてもう一手法はいかがでしょう。

これにより一票は自分の町内会に、もう一票は客観的に緊急度の高いところに投票が集まります。

それを公開することで順位決定に町民の理解が進むと考えますが、町長はいかがお考えになりますか。



町長答弁

町道の劣化により町民に大変ご不便をおかけしているところですが、緊急なもの以外には優先順位を考慮して効果的な補修を心がけています。

道路整備5箇年計画の策定にあつては、町内会への聞き取りを行い対応しています。

道路管理者である町が公平性や効率性、または他の事業計画なども考慮して策定をしておりますが、様々な理由により、ご要望に答えられない場合、その理由を周知することにも、丁寧に説明し理解が得られるよう努めていきたいと考えています。

他の一般質問

● ゴーダチーズのブランド確立を目指す施設の開設を

● 防災DX新総合防災情報システムに参加を

質問 家庭ごみ収集の効率化と環境美化に向けたゴミステーション導入の検討を

答弁 できる範囲から段階的なステーション化を検討します

たけだ かいと
武田 開人 議員

質問

現在、家庭ごみの収集は各戸別の収集方式がとられています。

利便性が高いようにも見えますが、ごみ置場が不明確でトラブルの原因となるケースも見受けられます。

さらに、敷地ごとに設置された複数の個別ごみ箱が住宅地内に乱立することで、景観を損ねる要因となっております。

また近年では、集合住宅でも各戸毎のごみ箱が設置されている物件が増え、一つの建物に複数のごみ箱が点在することで、収集効率の悪化につながっている現状があります。

こうした課題を踏まえ、



町長答弁

他自治体で広く導入されているゴミステーション方式の導入を積極的に検討すべきではないかと考えます。

新興住宅地のごみ箱のステーション化は、5基程度のごみ箱の設置を計画し、既に2基の設置を行ったところでです。

一方、町全体のステーション化も調査を進め、段階的なステーション化を検討してまいります。

再質問

全町でのステーション化について町民の意見を広く募集するために、意見交換会や説明会の検討はされていますか。

町長答弁

なるべく丁寧に説明を行い、ステーション化につながるよう努力してまいります。

質問 終活支援体制の強化を

答弁 出前講座等でエンディングノートの周知・啓発を行います

ひらやま ひろみ
平山 光生 議員



質問1

包括的なエンディングノートの作成、配布および出前講座等での終活支援の導入について、町長のお考えを伺います。

町長答弁

今後の相談支援や出前講座で、既存のエンディングノートの周知、利用について啓発を行っていきます。

また、本町独自のエンディングノート作成の必要性等について、次期高齢者福祉・介護保険事業計画の策定における課題として研究調査を行っていきます。

再質問

福祉サービスの相談窓口や町内の制度等、情報をまとめた資料を作成し、参考資料として配布できないでしょうか。

町長答弁

アンケートをとり、必要性について検討を進めていきます。

質問2

身寄りのない高齢者の緊急連絡先等を登録し、行政と協力事業者が死後事務などを支援する、終活登録制度導入について今後の方針を伺います。

町長答弁

今後の法改正により社会福祉事業と位置付け、制度化する方針が示されたところです。

法改正をもとに、関係機関と連携を図り、本町の実情に合わせた終活登録制度の導入について検証していきます。

再質問

法改正前に、小規模に試行的導入を検討するお考えはないでしょうか。

町長答弁

国に遅れを取らないように、研究を重ねます。

質問 太陽光パネル廃棄問題に適切な対応を

答弁 国の制度の充実を求めてまいります

くりす ようすけ
栗栖 陽介 議員



質問

太陽光パネルの廃棄について、廃棄費用は事業者が費用を確保し、責任を持つて適切に処分できると考えています。

2022年から固定価格買取制度（F-T）の認定を受けた事業者は、廃棄費用を積み立てる制度が義務化されました。

F-Tは20年契約で、契約終了の10年前から売電分からの積立となり、契約開始してから10年未満は、廃棄処分費を積立していないことになります。

もしその事業者が契約10年未満のときに大規模災害が発生し、パネルが破損したと仮定します。

町長答弁

町による撤去費用の負担については、所有者不在の大量廃棄・不法投棄を未然に防ぐため、国・北海道・警察と連携し、対応します。今後の国の対策など動向を注視することにも、制度の充実を求めてまいります。

他の一般質問

- 太陽光発電事業者の所有権移転等の責任ある管理体制を
- 景観・環境に対するより深い理解を

質問 移住者や子育て世帯などへの防災意識向上を 災害への備えを強化できるよう進めてまいり ます

あへ さき 議員 阿部 沙希

質問

全国的に地震が頻発し、自助による備えが不可欠です。

当町の地形や地域の特性に不慣れな外国人や転勤族、子育て世帯にとって、分かりやすく防災を理解・体験できるよう、視覚的に効果のある図上訓練の機会を積極的に提供していくことが重要です。

例えば、外国人向けには岩谷学園などを通じた防災講座の開催、子育て世帯には児童館まつりや地域イベントの際に、防災ブースを設けるなど日常生活の中で、自然に防災意識を高められる機会づくりが有効だと考えます。



図上訓練の実施や町内会単位での講座の充実、さらには未加入世帯・外国人・転勤族・子育て世帯に向けた防災意識向上をこのようにお考えでしょうか。
町長のお考えを伺います。

町長答弁

転入者や外国人住民に対しては、転入手続きで防災ハンドブック（やさしい日本語版）の配布に加え、6か国語に対応した防災パンフレットを作成し、ホームページからもダウンロード可能な体制を備えています。

外国人住民向けに岩谷学園東北北海道一丁専門学校で、防災啓発活動を行う予定です。

防災への取り組みは行政だけで完結するものではなく、地域全体で支え合うことが不可欠で、地域防災リーダーと連携し地域の防災力を高め、住民一人ひとりが災害への備えを強化できるよう進めてまいります。

質問 中標津町の基幹産業である農業経営体の減少の認識と対策について

答弁 選ばれる就農先として取組強化を図ります

ながぶち ゆたか 議員 長瀬 豊

質問

令和5年11月に出された、北海道立総合研究機構の推計では、本町の農業経営体は、2025年で234戸、10年後には175戸まで落ち込み、減少率はマインス35.3%と厳しい予測がでています。
この現状に対する認識と、今後の担い手対策をお聞かせください。

町長答弁

本町の農業経営体は、規模拡大により、効率的かつ、高い生産体制に寄与しています。

しかし、全国的な農業経営体の減少は、高齢化や後継者不足が進み、本町も同様の問題が深刻化している



と再認識しています。
担い手対策・人材確保のため、更なる取り組みの強化を図る過程にあると理解しています。
本町の農業の魅力を伝え、多様な担い手確保も視野に入れ、選ばれる就農先を目指していきたいと考えています。

再質問

新規就農者を呼び込むため、都府県などに拠点が必要で。

また、呼び込んだ方々に、将来が描けるスケジュール感と、酪農の現状把握を体感してもらうなど、選ばれる地域の具体策をお聞かせください。

町長答弁

現在、本町には「中標津町担い手育成総合支援協議会」が設置されています。

今後、就農までのスケジュール等が分かるパンフレットの作成や首都圏の「ふるさと回帰支援センター」など、拠点確保を検討します。

令和7年度 全国町村議会議長・副議長研修報告

日時：5月27日(火) 12:45～16:45 場所：東京国際フォーラム ホールA

講演1 広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」

講師：内閣府政策統括官（防災担当）付参事官
（防災デジタル・物資支援）松本氏

石川県の地震の経験を踏まえ、今後発生する巨大災害に対し、国が主体的に対応し、広域での連携を可能とするためのシステム構築を年内に稼働させるため、自治体の積極的な参加を求めるものでありました。



松本参事官

講演2 平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題、自治体実務の立場から

講師：明治大学名誉教授 青山氏

復旧復興の要は職員、関係者の出勤対策であることを強調されていました。



青山先生

講演3 災害と議会・議員の役割

講師：同志社大学名誉教授 新川氏

災害時に対応するため、平時における議会業務継続計画の策定と、訓練の重要性について解説を受けました。

緊急の招集、情報収集と執行機関との関係整理、通年議会体制の効果についても学びました。



新川先生

副議長 まつむら やすひろ
松村 康弘

中標津町植樹祭に参加しました

6月7日（土）、根釧東部森林管理署・中標津町共催で開催された『令和7年度植樹祭』に松村副議長他、議員8名が参加しました。

今年度は中標津町東中の会場になり、参加者約230名の手によって、アカエゾマツ・トドマツ合計1,000本が植えられました。

毎年参加の『緑の少年団ながしべつ冒険クラブ』のメンバーや、前年度中にお子さまが出生されたご家族（8組24名）が参加され、お子さまの誕生記念に苗木を植樹されました。

比較的、気温の高い日ではありましたが、皆、笑顔で楽し気に植えられていました。

お子さまたちも苗とともに元気に育ってくれることを願います。

植樹祭は『森林環境譲与税』を活用し開催しています。

中標津地域森林・林業・林産業活性化議員連盟

くりす ようすけ
栗栖 陽介



マニフェスト アワード コレクション

Manifesto Awards Collection

議会運営委員会オンライン研修会

日時：3月29日(土) 13:00～ 30日(日) 16:00 場所：中標津町役場3階 3・4号委員会室

3月29・30日の2日間にわたり、議会運営委員会の委員で、合計9時間のオンライン研修を受講しました。

マニフェスト大賞実行委員会主催の「マニフェスト・アワード・コレクション」で、2024年のマニフェスト大賞を受賞した議会の事例をじっくり学べる貴重な機会となりました。

講座は4項目に分かれており、各テーマについて、事例発表やパネルディスカッションが行われました。

- 議会基本条例は、本当に役に立っているか？
- 住民を巻き込む最新事例と改革のポイントを探る
- 進化する政策づくり
- 市民と連携する投票率向上

昨年の改選直後、前期の議会改革特別委員会から申し送りのあった項目について、後藤議長より議会運営委員会に諮問され、なかでも「議会基本条例」は最優先で調査を進めていきます。

研修会では、全国で初めて議会基本条例を制定した栗山町議会（2006年制定）や、議会改革の先進議会である芽室町議会（2013年制定）などから、議会基本条例の運用状況について報告されました。

栗山町では、条例に定められたことは、やらなければならないと、条例が議員の行動規範として活かされていること、一般質問も条例に定められた項目に従って行うようになってきたこと、その結果条例は毎年のように改正されているそうです。

また条例に沿って、議員アカデミーや主権者教育、前回の選挙に当たっては「議員の学校」を開講し、なり手不足に歯止めをかけた事例などが紹介されました。

議会基本条例を作ることが目的ではなく、条例を活かして議会の活性化を図ることが大切であると改めて学びました。

全国的に人口減少が進む中、議会基本条例の意義は、議会のあり方を明確に打ち出し、条例の活用によって住民福祉の向上につなげることにあります。



自治基本条例との兼ね合いも考えながら、縮小社会を住民・議会・行政の協力により乗り越えるべきであるとのお話に実用性があり、町民に信頼される議会を築くための、議会基本条例策定に向かいたいと決意しました。

この研修での参加者同士の学びから、一つでも多く実践し、議会の活性化につなげていきたいと思います。

議会運営委員会 委員長 江口 ともこ

第2回中標津町議会モニター会議

日時：6月11日(水) 14:00～15:00 場所：中標津町役場 3階 1・2号委員会室

令和7年6月11日より、2年間にわたって活動いただく中標津町議会モニター（以下、「モニター」という。）の皆さんへ、後藤議長より委嘱状を交付しました。

今期は、新たにモニターとなられた3名と、再任6名の合わせて9名の方々に応募いただきました。

初顔合わせとなった6月11日の議会モニター会議では、出席された6名のモニターの皆さんから応募動機等が語られ、今後のモニター活動に対する意気込みを感じました。

主な職務は本会議や委員会等の会議を傍聴したり、議会だよりやホームページの閲覧を通して感じた議会の運営等に対する意見を寄せていただくこと、議員との意見交換に出席していただくこととなります。

当議会では、これまでモニターの皆さんから意見を次のように取り入れました。

3か月に1度発行の議会だよりだけでは情報量が少なく公開のスピードも遅いため、町民に伝わりにくいという指摘を受け、「委員会代表質問・一般質問・意見書」をホームページ上で全文公開しています。

あわせて毎月開催する常任委員会の内容を「委員会活動レポート」として委員会開催後速やかな公開に努め、道内および道外視察で調査研究した成果も議員個々の視察研修報告書として随時公開しています。

このように細やかな情報発信ができる体制となったのは、モニターの皆さんが熱心に傍聴し、どうすれば議会に対して町民の理解を深められるかを真剣に考えていただいたことと感謝しています。

さらに昨年からは、「議会活動の見える化」として会議の出席状況、議案への賛否、一般質問回数など、各議員の活動状況をより詳しく公開しています。

本誌をご覧の皆さんにも、是非議会ホームページをのぞいていただきたいと思います。

モニター会議直後に開会した6月定例会には、本会議や委員会に連日モニターの皆さんが傍聴にお越しくださいました。

今後、議会運営に対してどのような意見をお寄せいただけるか期待するとともに、町民に開かれた議会を目指し、更なる議会の活性化に努めてまいります。



第5期議会モニターの皆さん

議会運営委員会 委員長 えぐち ともこ
江口 智子

文教厚生常任委員会

道外視察

視察先 香川県・愛媛県・兵庫県
 期間 5月12日(月)～16日(金)
 研修テーマ 多世代交流子育て支援・子ども若者発達支援
 ICT教育・トンネルコンポスト方式・幼老複合型施設



香川県宇多津町

●南部すくすくスクエア

カフェ併設の多世代交流拠点となる複合施設では、
 ①未就学児童の遊び場と保護者の子育て相談・交流の場「子育て支援センター」
 ②共働き家庭等の小学生の健全育成を図る「放課後児童クラブ」
 ③憩いの場「カフェ」
 や中高生の自主学習の場・地域の人が利用できる集会場等を備え、子どもたちが素足で遊べる人工芝の広場など、魅力的な施設の創意工夫が感じられました。



愛媛県四国中央市

●子ども若者発達支援センター「パレット」

障がいの有無にかかわらず日常生活・社会生活を送る上で困難を有する子ども若者へ「相談」「療育」「地域支援」の一貫した総合的な支援の運営状況を視察してきました。

四国中央市は、独自で「発達支援」を専門とする部署を設置、保健・福祉・教育の他部署や関係機関との連携、またパレットの専門職員が必要に応じてチームとして動けるよう柔軟な組織運営など、様々な取組について大変参考となりました。

●四国中央市教育委員会

四国中央市のGIGAスクール構想は、令和3年2月に端末の配置が完了したことを受け、機器の整備や児童・生徒の学力向上、教員のスキルアップを図る「GIGAしこちゅ〜プロジェクト」を立ち上げ、令和4年4月、教育委員会内に「学校政策課」を設置、学校・教育委員会と行政が一体となり、大学や民間企業など産・官・学が連携し、全てにおいて最先端のICT教育を進めてきました。

モニター画面から子どもたちが、タブレットを使い自由に仲間と学び合っている様子を見て、いきいきと輝く姿に感動と多くの刺激を受けました。



香川県三豊市

●バイオマス資源化センターみとよ

当時の三豊市長が「ごみは燃やさない！全て資源」との理念を掲げ、日本初となるトンネルコンポスト方式（微生物などと混合して発酵槽の中で分解処理する）を採用、一般的なごみ焼却炉に比べて設備投資や運営コストの削減、煙やダイオキシンなどが発生しない、環境にやさしい画期的な処理方式を学び、大変勉強になりました。



兵庫県南あわじ市

●幼老複合型ういずディサービスセンター

少し大きめの家の家庭的な雰囲気の中で、お年寄り子どもたちが、ともに過ごし、ともに関わり、ともに笑顔で、心豊かに暮らす幼老共生の理念と実践を視察し学ぶことができました。



文教厚生常任委員会 副委員長 さくま 久み子

総務経済常任委員会

道外視察

視察先 茨木県・東京都・神奈川県
 期間 5月19日(月)～23日(金)
 研修テーマ 人口減少対策・交流人口増加策
 移住定住対策・動物管理・野犬対策・防災



茨木県常総市

●人口減少対策、交流人口増加策、復興まちづくりの取組

常総市は、都心から55km圏内に位置することから、「アグリサイエンスバレー常総」に象徴される農地エリアへの企業農業の先進モデルや農地転用による都市エリアへの企業の立地、「道の駅常総」の開設により企業が進出しやすい環境にあることが人口減少対策となっていました。

●防災基本協定の見直しおよび自主防災組織の整備状況

平成27年9月の関東・東北豪雨災害による氾濫状況・被害状況・広域避難や廃棄物の状況・農業被害の説明を受けました。

災害をきっかけに防災意識社会の取り組みが進み、鬼怒川流域の7市町と国・県による横断的対策の取り組みとして、広域避難協定・広域避難訓練が実施されていました。

特に「みんなでタイムラインプロジェクト」自主防災活動の取り組みが行われ、逃げキッド「マイ・タイムライン検討ツール」は素晴らしいものでした。



茨木県境町

●株式会社さかいまちづくり公社

移住定住の取り組みとして、PFI住宅事業を展開、圏央道が開通し、首都圏から60km圏内で通勤も可能なことから、移住者は入居しやすいと思われました。

移住促進戸建住宅事業では、25年間住み続けると土地・建物が無償譲渡されるもので、首都圏近郊の住民にとっては、魅力あるものでした。



茨木県笠間市

●茨木県動物指導センター

県の施設であるこのセンターは、「殺処分ゼロを目指す条例」により、動物の管理から愛護管理へと変革、常時200頭前後の野犬が収容されていました。

譲渡の取り組みは、ボランティアへの譲渡で飼育管理費5,000円を補助、直接譲渡もありますが、不妊去勢手術はセンターで実施するか、譲渡後手術券を交付していました。



東京都千代田区

●認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

北海道で特設ブースのあるところは現在、函館市と上士幌町しかありませんでした。

相談に来る方に寄り添った業務が行われ、年会費50,000円で、共催セミナーが開催されていました。



神奈川県葉山町

●防災、女性防火防災クラブ

消火器の取り扱いから防災機器取扱い講習、避難所運営ゲーム、AED取扱い講習、視察研修、炊出講習まで多岐にわたり、素晴らしい活動を行っていました。

総務経済常任委員会 副委員長 あべ たかひろ
 阿部 隆弘

総務経済常任委員会

活動レポート



総務部

●防災について

・担当者への質疑と意見交換を行いました。

委員 協定先を一覧にして見やすく公開する予定は。

担当 地域防災計画資料編86ページに記載しホームページに掲載されています。

委員 内水災害の想定について、水防計画改定にあわせ策定することですが

水防計画の改定予定は。

担当 来年度または再来年度を予定しています。

・中標津町防災会議に関する条例改正案について説明がありました。

委員 女性委員を増やす改正案となっていますが、活動が形骸化しないような運営を考えていますか。

担当 訓練の実効性を高め

るために訓練のあり方を検討していきます。

●ふるさと応援制度推進事業について

令和6年度の寄附状況について暫定値は寄附件数1

万138件、寄附金額は1

億9千484万円と報告がありました。

委員 クラウドファンディング型ふるさと納税の検討状況は。

担当 行政側の事業からクラウドファンディング型ふるさと納税を取り入れ、その後民間事業者から募集を検討します。

委員 産業経済構造調査の結果について報告を受けました。

委員 畜産食料品の影響力が大きいと明らかになりましたが、この部分を伸ばす

具体的な取り組みの計画はありますか。

担当 まだ検討できていません。調査結果を施策立案等に活用したいと思います。

委員 除雪委託料の執行状況および今季の降雪量実績について説明を受けました。

経済部

●産業経済構造調査について

小樽商科大学に委託した

建設水道部

●除雪事業について

降雪量は中標津観測所で昨年比プラス33センチ、根室中標津観測所で昨年比プラス26センチであったと報告がありました。

今後、「経費回収率100%以上を目指す」「運営資金を確保し一時借入金を解消する」等を目標とし、

検証結果を本年度中にまとめ、改正が必要と判断された場合には、令和8年4月から新料金による賦課開始を目標としていることの説明がありました。

●上下水道事業について

下水道使用料の改定に関する検証について説明を受けました。

現状については「老朽化対策費と維持管理費が物価高の影響もあり増加している」「人口減少や節水機能

の向上により使用料収入が減少している」と報告がありました。

今後、「経費回収率100%以上を目指す」「運営資金を確保し一時借入金を解消する」等を目標とし、

検証結果を本年度中にまとめ、改正が必要と判断された場合には、令和8年4月から新料金による賦課開始を目標としていることの説明がありました。

委員会開催 4月16日

6月2日

(武田 開人 議員)

14

文教厚生常任委員会

活動レポート



収益的収支決算額の内訳

(単位：千円)

収入区分	決算額	割合(%)	支出区分	決算額	割合(%)
入院収益	1,920,747	41.0	給与費	2,405,326	47.7
外来収益	1,522,839	32.5	材料費	835,509	16.6
一般会計繰入金	912,695	19.5	経費	1,224,552	24.3
その他	332,778	7.0	減価償却費	346,028	6.9
			支払利息	29,215	0.6
			その他	201,529	3.9
計	4,689,059	100.0	計	5,042,159	100.0

●管理運営について
令和6年度病院事業会計決算概要と令和7年4月末の経営状況の報告がありました。

町立病院

委員 令和6年度の処遇改善に係る補助金の申請は受けていますか。
協議会 もちろん申請して支給していただきました。ただ、事務手続きと計算が煩雑で難しいです。



介護保険事業者協議会との懇談会の様子

●介護保険事業者協議会との懇談会
介護保険事業者協議会事務局始め4名の協議会運営委員会の皆さまに出席していただきました。
各介護事業所の現状と課題をお話ししていただき、介護職員の人材不足という喫緊の課題と今後の展望について意見交換を行いました。

町民生活部

委員 国からの通知は各事業所へはどのように図られていますか。
協議会 周知は町を通じて、各事業所に通知されます。
【主な意見・要望】
◇現状も大変だが、5年後10年後も見据えた対策が必要
◇子育て世代への支援・福祉機器導入支援の必要性
◇アフティブシニア（元気なお年寄り）も人材として捉えアプローチの有効性
●住民生活・環境衛生事業について
・災害廃棄物処理計画の策定案の説明
本町で起こる災害を対象に、災害廃棄物の発生量や種類などを設定し、適正かつ迅速な処理を進めていくために必要な事項として、仮置場の確保や運用方針などの説明を受けました。
委員 仮置場の選定が町有地このことはわかりますが、いびつな形状で仮置場にすることは非常に現実的ではないと思います。この選定は管理している建設水道部と協議して決めたのですか。
担当 一部を民間事業者に貸付している土地です。当然、貸付している最中ですので事前に説明し、民間事業者から

了解をいただき仮置場として設定しています。

教育委員会

●教育委員会所管施設・事務調査について

・中標津町図書館の開館時間の変更（試行運用）の説明
平成23年4月より、開館時間を午前10時から午後7時とし、町民のニーズに対応しながら運営してきましたが、夜間の来館者数が減少している状況です。
図書館における開館時間を午前9時から午後6時まで、時間帯を1時間早めて試行的に実施するとの説明を受けました。

委員 令和7年5月1日から、開館時間変更を事前周知しているとのことですが、既に始めているのですか。

担当 文化会館・図書館の掲示等で周知しています。アンケートも随時実施し、広報（らいふまつぶ）6月号でも、さらに周知を図ります。

委員会開催 4月14日

5月28日

（栗栖 陽介 議員）

令和7年4月から6月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
4月3日	交通安全祈願祭	議長 長	27日	全国町村議会議長・副議長研修会	正 副 議長
7日	計根別学園入学式	議長 長	28日	文教厚生常任委員会	全 委 員
8日	新入学児童に対する交通安全啓発	議長 長	30日	計根別学園運動会	議長 長
	議会広報特別委員会	議長 長	6月2日	総務経済常任委員会	全 委 員
	中標津農業高等学校入学式	議長 長	3日	乳牛感謝祭	総務経済常任委員長
9日	議会広報特別委員会	議長 長	4日	議会運営委員会	欠 席 1 名
10日	岩谷学園ひがし北海道日本語学校入学式	議長 長	5日	6月定例会議件事前説明	欠 席 1 名
	岩谷学園ひがし北海道IT専門学校入学式	議長 長	6日	議会広報特別委員会	欠 席 1 名
12日	別海パイロットスピリッツ選手お披露目会（別海町）	副 議 長	7日	根釧東部森林管理署・中標津町共催植樹祭	全 員 9 名
14日	文教厚生常任委員会（介護保険事業者協議会との懇談）	欠 席 1 名		自由民主党北海道第七選挙区支部定期大会（釧路市）	議 長
16日	総務経済常任委員会	全 委 員	8日	陸上自衛隊釧路駐屯地創立72周年外記念行事	議 長
18日	根室町村議会議長会定期総会	全 副 議長	10日	北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）	議 長
22日	議会役員会	全 正副議長	11日	議会運営委員会（議会モニター委嘱状交付）	欠 席 1 名
	正副委員長会	三常任正副委員長	15日	根室管内消防団員技能競技訓練大会	議 長
	議会運営委員会（議会モニター会議）	議長・全委員・議会広報委員長	16日	総務経済常任委員会	全 委 員
25日	総務経済常任委員会（CCSとの懇談会）	全 委 員		文教厚生常任委員会	欠 席 1 名
28日	第2回臨時会	欠 席 1 名		議会運営委員会	欠 席 1 名
	全員協議会	欠 席 1 名		6月定例会本会議（1日目）	欠 席 1 名
	中標津町議会議員会総会	欠 席 1 名		全員協議会	欠 席 1 名
	中標津地域森林・林業・林産業活性化議員連盟総会	欠 席 1 名	17日	文教厚生常任委員会	欠 席 1 名
	総務経済常任委員会	全 委 員	18日	総務経済常任委員会	全 委 員
29日	しげもとまもる活動報告会	議 長	19日	議会運営委員会	欠 席 1 名
5月1日	第96回全国統一メーデー中標津地区集会	議 長		釧路中標津道路整備促進期成会総会	議 長
12～16日	文教厚生常任委員会道外視察研修（香川県外）	欠 席 2 名	20日	6月定例会本会議（2日目）	欠 席 1 名
15日	北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会	議 長		全員協議会	欠 席 1 名
	北海道町村議会議長会理事会	議 長	21日	中標津青年会議所創立50周年記念式典	議 長
19日	東野ひできさんを励ます会	議 長	24日	議会広報特別委員会	欠 席 1 名
	中標津町商工会通常総代会	副 議 長	25日	議会広報特別委員会	欠 席 1 名
	総務経済常任委員会道外視察研修（茨城県外）	全委員・議長	27日	根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会役員会・総会	議 長
22日	中標津町老人クラブ連合会総会	副 議 長	29日	陸上自衛隊別海駐屯地創立60周年記念行事	議 長
			30日	一部事務組合・広域連合臨時会	関係 議員

中標津町議会公式チャンネルを開設しました

中標津町議会ではYouTubeで録画配信を開始しました。

令和7年6月定例会一般質問（委員会代表質問）から録画配信を行っています。

ぜひご覧ください！

皆様の登録、よろしくお願いします！

中標津町議会

検索



計根別学園6年生 7名が傍聴

6月16日（月）、6月定例会を傍聴してくれました。

会議中は一般質問を聞きながら、一生懸命にメモをとっていました。少しでも「議会」に関心を持ってもらえたでしょうか？



議会だよりをお読みの皆様へ

限られた誌面の都合上、掲載できない下記開催の議会内容については、中標津町議会ホームページからご覧いただけます。



●第2回臨時会（4月28日開催）

議会だよりに対する ご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地

中標津町役場 議会事務局

TEL (0153) 74-0912

FAX (0153) 73-5333

・ホームページは <https://www.nakashibetsu.jp>

・メールは gikai@nakashibetsu.jp

ご意見はこちらから



発行／北海道中標津町議会
編集／議会広報特別委員会